

<特別講演>

演 題

「航空機整備における“安全”について」

講 師

株式会社JALエンジニアリング 羽田航空機整備センター
メンテナンスコントロールグループ 主席Manager

よしい ひで き
吉井 秀己 氏

講演要旨

皆様にご利用いただいている民間航空機は、様々なシステムの集合体です。その部品数はどのレベルで数えるかにもよりますが、数十万から数百万点に達すると言われています。

多くの部品が様々なシステムを作り上げ、そのシステムが同時に作動して航空機は空を飛んでいます。

その航空機の安全を担保する機材品質を維持向上するために、多くの人々が航空機整備に携わっています。

購入した部品や材料が基準に合致していることを確認し、適切な状態で保管管理する人、機体の整備計画をコントロールする人、整備に使用する工具や計測器を管理する人、航空機やエンジン・様々な部品の整備をする人、特殊な加工や検査をする人、運航中の航空機の技術支援をする人などなど。

多くの人々が携わる航空機整備の世界においてどのように安全を確保しているのか、皆様に紹介させていただきます。